

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり作成しましたので報告します。

全 員 協 議 会 記 録

開 催 日：平成26年12月16日（火）

開 催 時 間：10時58分～14時30分

開 催 場 所：議会全員協議会室

〔出席議員〕

原田議長、澁谷副議長

足立議員、岡野議員、柳楽議員、串崎議員、小川議員、森谷議員、野藤議員、上野議員

飛野議員、笹田議員、布施議員、岡本議員、芦谷議員、佐々木議員、道下議員、田畑議員

平石議員、西田議員、西村議員、江角議員、牛尾博美議員、牛尾昭議員

〔執行部出席〕

市 長、副市長、教育長、金城自治区長、旭自治区長、弥栄自治区長

三隅自治区長、総務部長、地域政策部長、財務部長、健康福祉部長

市民生活部長、産業経済部長、都市建設部長、教育部長、消防長、上下水道部長

金城支所長、旭支所長、弥栄支所長、三隅支所長

（広域行政組合事務局長）

〔事務局出席〕 局長、次長、議事係長、庶務係長

議 題

1 報告事項

- (1) 平成27年度職員採用試験の予定について
- (2) 瀬戸ヶ島埋立地活用基本方針（素案）に係るパブリックコメントの募集について
- (3) 中期財政計画について
- (4) 財産（建物）の無償譲渡と契約条件等について
- (5) 市税等のコンビニエンスストアでの納付について
- (6) 浜田税務署管内税務担当職員研修会の開催状況について
- (7) 臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金について
- (8) 浜田市新型インフルエンザ等対策行動計画（最終案）の策定について
- (9) 国保診療所医師の浜田医療センターへの移籍について
- (10) 浜田地区広域行政組合第6期介護保険事業計画（概要）について
- (11) 浜田市高齢者福祉計画（概要）について
- (12) 浜田市障がい福祉計画（概要）について
- (13) 浜田市認知症高齢者等のSOSネットワーク事業（案）について
- (14) 浜田市子ども・子育て支援事業計画（概要）について
- (15) 浜田市国民健康保険及び後期高齢者のドック事業自己負担金の改正について
- (16) ごみ収集カレンダーのレイアウト等の変更について
- (17) エコクリーンセンター直接搬入手数料の改定について
- (18) エコクリーンセンター特別開場日の増設について
- (19) 山陰浜田港お魚カレンダーについて
- (20) 広島市場開拓室活動状況について
- (21) しまねお魚センターのリニューアルオープンについて

- (22) 温泉使用料の過少請求について
- (23) 浜田東部統合小学校（国府小学校）について

2. 陳情審査結果について

3. その他

- ・議案における各自の採決結果の記載について（配付・記入・提出）
- ・新年市民賀会の会員券の配布について（平成27年1月5日（月）16時～開催）

【議事の経過】

[10 時 58 分 開議]

原田議長 | 皆さんお集まりですので、引き続きご苦労さまですが全員協議会を開催させていただきます。

1. 執行部報告事項

(1) 平成27年度職員採用試験の予定について

原田議長 | この件について説明をお願いします。総務部長。

総務部長 | (以下、資料をもとに説明)

説明が終わりました。議員から質問等ございますか。牛尾昭議員。

牛尾昭議員 | ようやく情報公開という形でこのように資料が出たことは評価しています。一方、一般質問でも再々申し上げていますが平成26年度の社会人選抜であるとか、少し年齢層を広げることはUターンを促すという意味では非常に効果があると申し上げていますが、それについての考え方がこの文書からは読みとれないのですが、それについてどのようにお考えなのかお尋ねします。

総務部長 | 第1回目の採用試験については大学卒のいわゆる新卒者が受験しにくいという状況でこういうことも検討していきたいということとして、従来の秋の試験については高卒者が受験出来るようにということと含め、Uターン・社会人枠の方についても、現在は事務職一般試験については29歳以下ということですが、いま議員がおっしゃったことも踏まえて秋の実施については少し柔軟に検討させていただければと思っています。例えば条件等について詳細は今後詰めてまいりたいと思います。

牛尾昭議員 | 部長がおっしゃったようなことを情報として流すことが必要だと思います。例えば一般事務は29歳で打ち切りだけど新年度は例えば35歳であるとか33歳であるとか。そういう情報を流されることの方が重要だと僕は思っているの。これ以上申しませんが是非ご検討をお願いします。

総務部長 | 検討させていただきます。

原田議長 | 他にありますか。森谷議員。

森谷議員 | 7番まで番号ありますが、2番の採用試験の予定は27年になっており、6番の募集開始時期は26年になっているんですが、これはこれで良いんでしょうか。もし27年なら6番の募集開始時期予定の2回の試験が8月頃となっていますが、8月上旬に2回目の試験があるんですか。二次試験があるということですか。

総務部長 | 大変申し訳ございません。6番については27年ですのでよろしく申し上げます。第2回目の、27年8月頃に募集を開始したいというのは第2回の試験として、従来やっている9月に一次試験を行うものですので、そういうことです。

原田議長 | 他にありませんか。

(「なし」という声あり)

ではこの件については終了します。

(2) 瀬戸ヶ島埋立地活用基本方針（素案）に係るパブリックコメントの募集について

原田議長 | この件について説明をお願いします。地域政策部長。

地域政策部長

(以下、資料をもとに説明)

この瀬戸ヶ島のパブリックコメントを行うことと合わせまして、議員の皆様にもいろいろなご意見を頂戴いたしたいと思っておりますので、来年1月9日(金)10時30分からこの瀬戸ヶ島関係と、主要プロジェクトのもう1つであります浜田城周辺の事業について、別途市長も出席しご説明をさせていただきご意見をいただく場を設けさせていただきたいということで、正副議長のご了解もいただいておりますので、後日改めて文書でご案内させていただきますので、よろしく申し上げます。

原田議長
江角議員

説明が終わりました。議員から質問等ございますか。江角議員。

年明けにまた集中して議論の場を作っていただけるとのことで理解しました。総務文教委員会で言わせていただいた意見についてはどうもスルーのようなのでもう一度確認させていただきたいと思っております。

出された資料の13ページと15ページ、13番から16番の所です。この絵を見られた執行部の皆さん、議員の皆さん、どう思われますでしょうか。私は委員会でも言わせていただいたんですが、お魚センターは一体どうなるんでしょうかね。右下に神楽の絵も描いてあります。中期財政計画についての説明が後ほどあると思っておりますが、総務文教委員会ではこれも示されたのでそれも併せて聞きました。

先ほどおっしゃったように一番の集客がこの場所になるよう目指して提案されているわけですが、神楽殿はまた別に3億円弱の提案をされています。

この案は案として色々議論されて立派な案が出来上がったと思っておりますが、委員会でも言いましたように、我々議員は浜田市全体の予算や施策を見た上で、個々の施策についてどうだろうかということをお断り考えます。ロードマップの中でもお魚センターの方針を、関わり方は全く違う施設ではあるんですが同じように方針を示すことになっていったと思っております。それから仲買人売場も老朽化していますし要望も出ています。こういった辺りの施設の考え方が一方であって、そしてこの瀬戸ヶ島の開発はこうする。こういう考えであればもう少し心配は無いかもしれません。まだそれだけでも心配なわけですが。その辺りが示されてないんですけど、お魚センターの関係は同じような流れで示すことになってはいますが、これについてはどうなっているかお伺いします。

地域政策部長

この絵を見ていただくと、安いお魚を販売するようなイメージもあります。今お魚センターがあり、また後ほどご説明もさせていただきますが、リニューアルオープンということでお魚センターも当面、集客アップをしていかなければいけないと思っています。

ただ、お魚センターも施設の老朽化や今の体制でこのままずっと集客アップ出来るのかという問題もありますし、広島方面の方が浜田にお魚を求めに来られた時にそれに対応出来る場所というのは当面お魚センターしか無いと思っています。そういう面ではお魚センターの今の必要性もあると思っていますが、今後こういう瀬戸ヶ島の一体的整備をする中で、浜田漁港全体の中の瀬戸ヶ島という位置付けであります。瀬戸ヶ島だけということではなく、先ほど説明は省略させていただきましたが、⑨、⑩の所に、生活文化の港が瀬戸ヶ島、あと漁港、商港という浜田港全体の海を一体的なイメージも当然持っていて、今後この瀬戸ヶ島の議

論を進めていく中で、お魚センターの今後の位置付け等、仲買売場の位置付け等、検討していかなければいけないのではないかと考えています。まだ今の段階でお魚センターをどうしますということは出していませんが、当然すり合せはきちんとしていく中、お魚センターの今後、瀬戸ヶ島でどういう機能を充実するかということはお示しし、すり合せもしていきたいと考えています。

それからもう1つ。中期財政計画でも20億円強の予算が確保されており非常に大きな事業ですので、先ほど言いました浜田城周辺も大きな事業費を想定していますが、これまでもありました、浜田市の次期総合振興計画も早く作成しながら、その中に財政計画と一緒に新しい今後のまちづくりの計画もお示ししなければいけないということで、27年度中に総合振興計画の策定ということでご説明させていただいておりますが、この作業についても出来るだけ早くとりかかりながら、この辺の大きなプロジェクトがきちんとは浜田市の全体計画に位置付けて財政的な裏付けも付けながら進めていけるようやってみようと考えています。

江角議員

中期財政計画でこの事業費が出てきました。大枠だということで捉えておりますが、当初ソフト事業でというような我々の受け止めでしたが20億円もかかるんだと。そのように非常に、総務文教委員会に來られてない委員の皆さんには説明もありませんが、次の中期財政計画で初めてこの瀬戸ヶ島の財源の裏付けが見える、事業費が見えるわけで。

今日終わって明日からパブリックコメントをかけるというような日程ですが、早すぎると私は思います。議員の皆さんの意見を聞くということですから、もっとトータルな形で意見を聞かれてその上で市民に意見を聞くのが最善の方法ではないかと思えます。

市民の皆さんはこれだけ示せばこの中身だけ色々意見を言われると思いますが、心配ごとはお魚センターはどうなるのか、財政は一体どうなるのかといったところだと思いますので、もう少し市民の一方の代表である議員の意見を聞いていただいてからパブリックコメントをかけていただくように私の提案とさせていただきたいと思えます。

地域政策部長

パブリックコメントの時期ですが、通常はある程度出来上がって完成したものをかけるというのがよくやる手法なのですが、今回のようにまだ叩きの段階でご意見をいただくというのは、今後も皆さんの幅広い意見を踏まえてまだ色々な所の修正をしなければいけないという気持ちがありましたので、早くお示しさせていただきました。先ほど申したようにパブリックコメント期間中ではありますが議員の皆さんにもまたご説明させていただいてご意見をいただく。

それから先ほど申しませんでしたが、パブリックコメントも明日からやらせていただきますが、既にある関係団体、例えば仲買さんとかJFさんとか実際に色々瀬戸ヶ島開発に関わられる方、また色々な商工団体の方等とは別にヒアリングをさせていただいて、そういうご意見もいただきながらまた見直しが必要な所は修正するような形で考えています。基本的にはまだ素案ということで未確定な部分はありますが、早めこれについてご意見をいただきたいということでパブリックコメントをさせていただく。ヒアリング等もやりながら議員の皆さんのご意見をいただいて、最終的にこの計画を仕上げたいと今は考えています。

江角議員

取り入れていただけないということですが、次の所でも言いますけど、財政というのは一方で今回の議会でも議論になりましたように、自治区制度が非常に財政が厳しいということで浜田那賀方式を廃止するという示されており、それに対して予算部分あるいは条例改正部分でも、議員の方がいわゆる市民の皆さんの声を判断しながら決断した対応なりをしたわけですが、そういったことも踏まえて、これだけが先歩きするというのは私は合点がいきません。取り入れていただければそれで結構ですが、私は私の意見を訴えておきたいと思います。よろしくをお願いします。

地域政策部長

パブリックコメントは申し訳ございませんが明日から予定どおりやらせていただきたいという思いと、先ほどありました自治区制度のことについても今回の条例改正や予算のことも色々ご意見をいただいて、当然瀬戸ヶ島の事業費も関連してくると思っています。

自治区制度も私の所管ですのでこれについてももう少ししっかり説明させていただいて、今後の新自治区制度の基本方針の、もう少し踏み込んだ物をまたご用意させていただく中で一緒に合わせてご議論いただいでご理解いただけるように努力していきたいと思っています。

牛尾昭議員

いまの部長の話も含めて、先般の所管委員会で岡田課長の説明がありました。ソフト重視でハードについては民間の力を導入してと僕らは聞いていたので、そのように思っていました。しかし20億円強の枠が突然出てきて、我々議員の中でも一体どうなるのかなと。

そういう中で一般市民の方にパブリックコメントを求めて、一体どのくらいの範囲の方が答えられるのかと思うんです。非常に拙速だと思います。

先日の所管委員会での岡田課長の話は、以前聞いたような話。10年とか15年前です。それは道の駅はまだのゆうひパークと整合性を図るとか影響を与えないような範囲でこの絵を描いていくんだと、昔聞いたことがあります。それはお魚センターが先だったか、ゆうひパークを作る時に下と競合しないように鮮魚は上で売らない、上で売るのは加工品という住み分けをしますと。作る側の住み分けであってお客さんのニーズじゃないんです。そうして失敗したのが現在の状況なんですよ。また同じようなことを言われている。

先ほど同僚議員が言いましたが浜田市全体の計画の中でどのように位置付けをされているのかが全然見えてこない。僕だけ見えてないのかもしれないけど。そういう中でパブコメだけは急いでやりますと言うのは支離滅裂だと思います。ちゃんとしたパブリックコメントを求めようと思うなら、それなりの浜田市の全体概要を示して、お魚センターが地盤沈下しているけどここはどうしますか、例えばここを立ち上げた暁にはお魚センターを閉めるんだとか。そういった全体の大きな流れを示していただいて、それがどうでしょうかということでパブコメを求められるなら分かるんだけど、ここだけ絵を描いてここだけについてというのは市民に誤解を与えるような気がします。

そういう形でパブコメを求められるのは僕は間違いだと思います。意見を申し上げておきます。

地域政策部長

江角議員さん、牛尾昭議員さんのご意見をいただきました。その辺も

踏まえて検討させていただきますし、先ほど来あります、お魚センター等の整理も出来るだけ早くしていきたい。

それから財政計画の中で20億円強というのは、冒頭申しましたようにまだ積み上げておりません。基本的にはなるべくお金をかけずにやる、ソフト中心にということで大枠を取っております。20億円の中には民間でやっていただきたいようなことも予算としては担保しておりますが、民間でやっていただけるものは削っていけると思っております。それがいくらになるかまではお示し出来ませんが、そういうことはしっかり肝に銘じてやっていきたいと思っております。

原田議長

私からも少し言わせていただきたいんですが、瀬戸ヶ島事業については総務委員長からも実はお話を聞いています。全体で議論した方が良いんじゃないかという話もいただいています。出来るだけ年内にという話も色々していたんですが、なかなか日程調整がつかなかったということで、1月9日になると執行部から聞いています。

いまも話がありましたように、当初はソフト事業が主体という話だったと思うんですが、いつの間にか21億円ぐらいの予算計画が出たことで、皆さん方からも非常に問題があるという指摘が実は出ています。この辺のところは充分検討する必要があると私も思っています。

パブリックコメントについても、明日からとなっておりますが充分検討していただきたい。私からもお願いしておきます。森谷議員。

森谷議員

20億円強となっておりますが端数がついているんです。ということは何か積み上げているということなので、その細かい所も、いい加減でも良いから積み上げているベースになるエビデンスみたいな物があるならペーパー1枚ぐらいでも配布すべきだと思います。

地域政策部長

当初予算を取るための積み上げは当然しています。ただ、それ以降は先ほど言いましたように例えば温浴施設等の、本来は民間でやっていただくような物も積み上げています。その資料は今日用意していませんが、1月9日にどのような物をご用意出来るかは内部で充分協議して、また色々なことをご説明しながらご意見をいただくようにさせていただきたいと思っております。

森谷議員

遅いですよ。明日にでも事務局に持って行ってくださいよ、大雑把で良いですから。

原田議長

この件については皆さん方からもまだ意見があると思いますが、先ほどの資料の件もありますし、色々なことを検討しながら、1月9日に開催されますので、その時に充分議論していただきたいと思っております。よろしくお願ひします。よろしいですか。

ではこの件については終了します。

(3) 中期財政計画について

(4) 財産（建物）の無償譲渡と契約条件等について

(5) 市税等のコンビニエンスストアでの納付について

(6) 浜田税務署管内税務担当職員研修会の開催状況について

原田議長

4件一括で説明をお願いします。財務部長。

財務部長

(以下、資料をもとに説明)

説明が終わりました。中期財政計画について議員から質問等ございま

牛尾昭議員 牛尾昭議員。 要望しておきます。重要な問題なのでもう少し時間を割いていただいて、議長の音頭で集中勉強会をしていただくよう要請します。

原田議長 分かりました。江角議員。

江角議員 14、15ページの主要事業の所です。元気な浜田づくりに関連すると思われる瀬戸ヶ島の関係、それから石見神楽殿の関係、駅周辺関係、歴史館関係。ざっくり計算すると45億円余りだと思います。

これも自治区制度に繋がりますが、浜田那賀方式自治区制度（を続けるには）財政が厳しいという理由でした。むしろこの元気な浜田づくりがそこを示しているのではないか、厳しくなっている要因がここにあるのではないか。

私は元気な浜田づくりを進めるのは当然賛成です。ただ、この金額と比べて浜田那賀方式自治区制度を廃止する、いわゆる投資枠経費は辞めて浜田那賀方式を続けるということは、例えば3年ないし5年という年数で言うと、この金額に比べたら僅かな金額ではないかと思うんですが。

財政が厳しいがために浜田那賀方式を廃止するということに、この中期財政計画の整合性が見いだせるのかどうか。この点をまずお聞きしたいと思います。

財務部長 非常に厳しいご質問ですが、ひとつは投資的経費でこの事業をするということは、雇用の確保とか経済活動をさせるということで、それによって一定の地域GDPが跳ね上がるという点も必要かと思えます。

自治区制度については人口減少を捉えて、一定のそういう制度があった方が人口減少が抑制出来るとかその部分で地域生活が、住民の方が昔から慣れ親しんだ地域で引き続き同じような生活が出来るという面は必要かと思えますので、両方のバランスを取る必要があるかと思えます。そのバランスがどの辺で線を引くべきか非常に難しい点ですので、両者を睨みながら事業展開する必要があるかと考えています。

江角議員 私が言える範囲はその程度の物です。

自治区制度については特別委員会があるので、議会人として一般質問では内容の問題には触れずに、他の点を質問させていただいたつもりです。

ただ、もうあまり期間が無い中でどこかで議会側の意見も言っておかなければいけないという思いで、この中期財政計画が出てきたところで意見を言わせていただいています。

そもそも合併したのは、財政が厳しいという中で合併特例債が10年間あって、向こう5年間は徐々に減って15年間で皆減するということでした。その意味で合併の財政効果は少なくとも15年まであるわけです。それから、旧浜田市は過疎地域ではありませんでした。合併して過疎地域指定になりました。これは何としても脱却をしなければならいわけですが、現実には過疎債が当てはまるようになりました。これはもう少し続きます。

これは財政の合併効果だと私は思います。そうした意味で今回、元気な浜田枠を含む中期財政計画が出されましたが、浜田那賀方式を来年早々に廃止するというについては少し乱暴ではないかと思えます。

投資枠経費を除けば、あとは自治区長の経費です。私どもは当初、先ほどの意味合いから浜田那賀方式は5年間延伸すべきと、会派としても言

わせていただきました。しかしながら少し状況が変わってきて、こうして財政計画も示され、私は少なくとも我々の任期の間は浜田那賀方式を続けるべきではないか。その期間に新たな方式をこの財政計画から見ても示すべきではないかということ、私は提起しておきたいと思っております。

飽くまでも提起ですから、今日は個人的な提起になりますが、中期財政計画から見てその説明が出来ないのではないかという思いから言わせていただいています。よろしく申し上げます。

地域政策部長

自治区制度関係のご質問なので私からお答えします。

浜田那賀方式を存続というご要望と、ご承知のように公聴会では浜田自治区エリアでは廃止という両方のご意見があって今回新自治区制度というのをご提案させていただいています。ただ、これまでもご説明していますように、新自治区制度は浜田那賀方式を廃止するというのではなく、基本的には存続する中で一部見直しであり考え方は踏襲していると思っています。

先般は投資的経費の廃止や地域振興基金統合ということで、全てが無くなるようなイメージを皆さんお持ちかと思いますが、年明けてもう少し肉付けをしながら基本的には一部見直し、自治区長は廃止するという事で代わりに自治区担当副市長。お金のことと人材登用のことも問題があるとのことで、自治区長の見直しはご説明させていただいていますが、お金のことについては地域振興基金、今後の自治区の投資事業については、年明けの特別委員会等にご相談させていただきながら説明し、肉付けをする中でご理解いただけるよう考えていきたいと思っております。

何度も申しますが浜田那賀方式を一部見直しをした存続ということで、私どもはこれから進めていきたいと考えています。

江角議員

ここでの議論は本旨でないと思っておりますので、置きたいと思っておりますが、住民の皆さんは浜田那賀方式は一部見直しだと言われておりますが、私はそうではないと思っております。大卒はもう廃止で、あの定義で残っているのは地域協議会くらいではないですか。私はそう受け止めています。むしろ廃止と言った方が良くないかと。

言葉でいくら「一部見直し」だと言ったとしても、そうではないんだということをおっしゃっていただければ、ここでは終わりたいと思っております。

地域政策部長

先ほど来申しておりますが、もう少しその辺が皆さんにご理解いただけるように、今後の方針の肉付けをしたものをまた改めてご提案させていただき、ご意見をいただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

原田議長

森谷議員。

森谷議員

コンビニ納付の件です。益田市が銀行でも納付出来るように…。

原田議長

ちょっと待ってください。今は中期財政計画についてやっておりますので。他に、中期財政計画についてありますか。森谷議員。

森谷議員

3ページの右上に固定資産税の収入予想と書いてありますが、ここでは太陽光発電の金城カントリーや浜カン跡や、ある程度建築・新築住宅ブームなんです、それらの増収については考慮されていない状態という認識でよろしいでしょうか。

財務部長

太陽光については償却資産の該当になるかと思っております。償却資産については三隅火力発電所の償却資産の減額部分がありにも大きいので伸

びる要素がございません。

仮に太陽光部分を見たとしても、縮減額が少し下がるくらいのもので、そんなにその部分で影響は無いと考えています。

原田議長
森谷議員

良いですか。森谷議員。

分かりました。それと11ページ真ん中よりやや上に、投資的経費というのがあり、大きく見て100億円減ることになってましたよね。430億円が何年かで320億円くらいに。その中で投資的経費がほぼ100億円くらい減っているんですが、それについての影響力、例えば業者が経済的に困るだとか、その類で浜田市がどんどん仕事を出していたというようなことを言っておられたと思いますが、その辺はもう背に腹は代えられない状況になってきたということによろしいのでしょうか。

財務部長

投資的経費については地元経済を考えると、逆に言うとなんとしてもここを死守したいというのが我々財政サイドの基本的な考え方ですが、何分にもこの減額した部分でも平成33年度では赤字部分が11億円見込まれる。赤字が出るということは財政調整基金の取り崩しが始まりますので、そうすると何年かすれば予算が組めなくなります。それは何としても回避しないとイケないので、当然その部分では背に腹は代えられないためどこかを削るということで、こういう数字になっています。

森谷議員

私は早くからこのようにやって欲しかったんですが、色々気を遣ってなかなか出来なかったと思います。評価しています。

14ページ、瀬戸ヶ島関係で20億円ちょっとありますが、財務部長ですから、大雑把には何がこうあるとか、1月9日に回すにしても今の段階でどんな物がぼんぼんとあるのか説明していただければと思います。市長が説明してくれても構わないんですけど。

地域政策部長

瀬戸ヶ島の関係は私どもが担当して要求しているので私からご説明します。

基本的には先ほど来申しております、3つのゾーニングそれぞれに関わると思われる、例えば温浴施設なら一般的にこの程度の規模ならこれくらいかかるだろうとか、交流イベント等をする施設にどれくらいかかるかとか、駐車場整備、トイレ等、一般的な物を含めて積み上げた物です。この中でも温浴施設や物販施設とか、民間にお願いしようと色々進めています、そうすればこれが圧縮出来るということで、今回の20億円強はそういうものを全部積み上げたものということで、出させていただきます。

森谷議員

バランスが聞きたかったんですけど。今言えれば言ってください。言えなければ私が後で聞きに行きます。

地域政策部長

基本的には今の施設整備を見込んでおりますが、駐車場やその辺の用地取得、今は基金で浜田市の土地も所有していますが、その基金からの買い戻しとかそういう物にも関わってまいります。ちょっと今、どれがいくらということはお示し出来ませんが、1月9日の説明会ではもう少し詳しい、ご理解いただけるような資料もご用意させていただきたいと思っております。

原田議長
串崎議員

良いですか。串崎議員。

平成33年にマイナス11億円という形になっていますが、普通、私どもの考え方から言えばちょっと考えられないことなんですが、どうしてマ

イナスになる事業計画を立てられるのか。

マイナス11億円になるなら主要事業何かを削ってでもプラスマイナスに持っていくべきだと私は単純に思っているんですが。どうしてマイナスで出せるのか疑問に思います。

財務部長

これは長期的な収支計画と考えるいただければ。今現在、扶助費とか人件費、補助金等々の歳出が、固定費のように決まっています。その部分を削る部分というのが行財政改革の中で諮り、それを削っていく。また、公共施設の再配置計画の中でその見直しを図っていく。そういう中で、今のこの予想は11億円の赤字ですが、11億円の赤字をするためにこの計画をそのままやるわけではありません。近づいて行けば、例えば2、3年前になると黒字かトントンになるという形を何としても取りたい。長期的に見ればこのようになってしまいますよ、だから今、行財政改革や公共施設の再配置計画の中で削減出来る所は皆さんで考えて削減しましょうという計画書にもなっています。そのように考えていただければご理解いただけるかと思えます。

原田議長
江角議員

良いですか。その他ございますか。江角議員。

瀬戸ヶ島の関係で、私が議会に出てきた頃には既にマリン大橋も完成し、あの先に栽培漁業の土地として出来るんだと聞いていました。議員の皆さんが後でびっくりされたのは、マリン大橋を渡って道路を挟んで右側、浜田市が土地を買えという提案が出てきた。それを議員の皆さんは誰も知らなかった。今は右側は市の土地、左側は県の土地ですよ。

浜田市は今回こういう絵を描いた。パブリックコメントが出る。県は左の土地は市で買ってくださいよというようなことは出てこないんですか。それはずっと大丈夫なんですかね。これだけ確認しておきたいと思えます。

地域政策部長

基本的には水産業振興のための栽培漁業用地として整備したもので、本来はそのために使うべきだと思っています。ただ遊休地として遊ばせておくのはいけないということで水産庁も拡大解釈でやっているのですが、これが未来永劫続くというものではないと思っていて、専用申請をして目的外使用の許可を取りますので、当面10年15年を想定した施設整備等をしますし、土地についても県有地を使用する場合は借地契約等で、市が借りるものか民間事業でやっていただく部分が入った場合は県から民間事業に借りていただく等のことも考えないと。基本的に買い取るという話もしていませんし県からも言われていませんので、市有地と県有地をそれぞれ、市有地を民間の方に使っていただく場合は土地使用料をいただくという形でやっていくということで。

県からの土地取得は想定していません。

原田議長

良いですか。その他ありますか。

(「なし」という声あり)

ではこの件については終了します。

皆さん方にお諮りしますが、まだ結構議題が残っていますのでここで休憩をさせていただいたらいと思いますが、よろしいですか。

(「はい」という声あり)

では午後13時丁度から始めたいと思いますので、よろしくお願ひします。

〔 12時 11分 休憩 〕

〔 13時 00分 再開 〕

原田議長

これより再開します。(4)について質問・意見ございますか。
(「なし」という声あり)

森谷議員

(5)について。森谷議員

コンビニストアの納付の件で。納付書なんですけど、1枚で銀行でもコンビニでも使える物なんでしょうか。それとも2枚入っているんですか。美郷町では1枚で両方使えるタイプだそうですが。

原田議長
財務部長

財務部長。

納税者の利便性を考えると、言われたように1枚でコンビニでも普通の銀行でも納付出来る物というように考えています。

原田議長

よろしいですか。他にございますか。

(「なし」という声あり)

(6) について。森谷議員。

森谷議員

申告業務と浜田市に給与の情報が入ると思いますが、人事院勧告の時に答えていただけなかった平均給与等もここにあるのですから、資料をきちんと利用して、ある程度お答え出来るように工夫していただくべきだと思います。

原田議長
総務部長

総務部長。

人事院勧告の件ですので総務の立場から一言説明させていただきます。議員が言われるように、地域の給与等を参考にすべきだという意見がどんどん出るのは承知しています。例えば最近では益田市でもそういう考え方を示された市長もいらっしゃったことがあります。

ただ、人事課長が答弁させていただいた給与状況については、現在の人事院勧告制度がいわゆる一般行政職等の給与の調査対象が定まっています。民間の給与の条件は税情報等で色々あるかと思いますが、現在人事院勧告あるいは県で対象とされている対象というのが明確に定まっており、そうしたものについての調査する情報が分からないということで答弁させていただいていますので、その点はまずご理解いただきたいと思います。

原田議長
森谷議員

森谷議員、これはちょっと議題が違いますので。

私は民間給与を示してくださいということで、それに従いなさいということは一言も言っておりません。折角宝物があるんですから民間企業の平均とか、そういうことは示されると思うのでそれを資料として示していただきたいなと思ったわけです。

原田議長

他にございますか。

(「なし」という声あり)

では次へ移ります。

(7) 臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金について

(8) 浜田市新型インフルエンザ等対策行動計画（最終案）の策定について

(9) 国保診療所医師の浜田医療センターへの移籍について

(10) 浜田地区広域行政組合第6期介護保険事業計画（概要）について

- (11) 浜田市高齢者福祉計画（概要）について
- (12) 浜田市障がい福祉計画（概要）について
- (13) 浜田市認知症高齢者等のSOSネットワーク事業（案）について
- (14) 浜田市子ども・子育て支援事業計画（概要）について

原田議長
健康福祉部長

8件一括で説明をお願いします。健康福祉部長。
（以下、資料をもとに説明）
説明が終わりました。議員から質問等ございますか。
(7)について。
（「なし」という声あり）
(8)について。
（「なし」という声あり）
(9)について。江角議員。

江角議員

結局のところ、診療所の医師の方が医療センターに完全に移籍されるという認識でよろしいでしょうか。その後の国保の医師確保はどのように考えておられるかを含めてお伺いします。

健康福祉部長

国保診療所の医師が1名程、来年4月から浜田医療センターに移籍します。現在の国保診療所と医療センターの関係ですが、週1回医療センターに行き、1日程総合内科を担当していました。これが平成21年度からそういった支援をして、浜田市全体の医療体制を充実していこうと取り組んでいるところです。

そういった中で先ほど課題の部分で言いましたように、医療センターを中心にしながら、個別の医師の先生方全体で浜田市の医療を支えています。なかなか総合医療の充実が必要であることから、このたび1名移籍しました。

その後については引き続き1名の医師募集をかけていきたいと思っておりますが、当然不足しています。現在常勤医が4名、嘱託医師が1名、パート医師が1名の計6名で、4診療所と1出張所を皆で運営していますが、それが1名減になりますので、常勤医3名、嘱託医師1名、パート医師1名の5名体制で行うこととなります。医療センターに行った1名の医師については、逆に週1日ほど診療所の診療を行うという形を取りたいと考えています。1名少なくなるので地域の皆さんには若干ご不便をおかけすることになるかもしれませんが、出来るだけ市民の皆様に影響が無い形で診療の協力体制を組みながら対応していきたいと思っております。

江角議員

医療センターの医師確保が非常に難しいということで、国保に来ておられる先生をそちらに移籍するというようなことであってはならないと僕は思います。総合的に見ていくことは良いことかもしれませんが。

であれば、国保の穴埋めもきちんとした上でやらないといけないんじゃないかというのが私の意見です。というのも、国保診療所の先生は非常に遠くからも来ていただいている。この理由は全体でカバーしながら少し余裕を持って診療にあたる事が出来る、仕事出来る、ここの所が魅力だったわけで、その意味で国保に来ていただいた経緯があるわけですが、それも崩れて、医療センターは助かるかもしれないが国保が手薄になって人材が確保出来ないということでは、住民の皆さんの健康の問題、心配に応えることが出来ないのではないかと思いますので、その辺りをきちんと確保した上での移籍なのか、少し足りない中でも無

健康福祉部長

理をして進めるのかをもう一度お聞きしておきたいと思ひますし、言ひたいことは「しっかり確保してください」ということです。

医療センターの医師が不足しているということですが、総合内科は現在2名でやっています。診療所の医師1名を含めて2名ということですが。浜田市の高齢化状況の中、複数の疾患を持っている方が多いということで、総合内科を充実することで逆に多分、専門医が専念出来るという体制が取れるだろうということで、27年からは2名を4名体制くらいに充実を図りたいということですが。それが引いては浜田医療センターの専門医の負担を軽減することになるだろうと。浜田市全体の地域医療の充実になるということで、高齢者の方々の複数の疾患に答えていく。そういった総合医体制を充実するということです。

おっしゃるように国保診療所については4ヶ所と1出張所について6名体制でやっており、連合体ということでこの体制については全国的にも非常に珍しいということですが。議員もおっしゃったように、診療所に医師が来られるというのは非常に難しいそうですが、浜田市においては数年間色々な先生に来ていただいています。それはやはり、連合体で協力し合いながらやっている体制に魅力を感じている、地域医療を担うことに魅力を感じているということで来てもらっています。そういった体制は今後も引き続き1名の常勤医については募集をかけていきたいと思ひています。

口コミで先生方から色々な学会等に行った時に、浜田市の診療体制はこんなに素晴らしいよ、協力しながらこんな成果を上げているよということで、ブログも立ち上げています。是非来てもらえるように強く働き掛けたいと思ひます。

繰り返しになりますが、5人で4ヶ所の診療所と1ヶ所の出張所を担当しますが協力体制を組み合わせながら、地域の皆さんには影響が無いように取り組んでいきたいと思ひます。

江角議員

本来なら国保の先生方の数をきちんと確保した上で移籍すべきだと思ひます。仕方ない面もあるかもしれませんが、逆に国保のカバーを医療センターにしてもらうということも含めてきちんとしないと、来てもらえない環境にもなりかねないと思ひますので、よろしくお願ひします。

魅力の1つに、国保に来て地域の皆さんと密接な関係が築けるとということと併せて、医療センターに行って研修も出来るということが魅力だったわけですが。今回そうなること逆の関係になるわけなので、諸手上げてどうぞというのではなく、連携をきちんと取っていただひいて早急に確保出来るような体制を取っていただひきたいと思ひます。

原田議長

(9)について他に。

(「なし」 という声あり)

(10)について。

(「なし」 という声あり)

(11)について。

(「なし」 という声あり)

(12)について。

(「なし」 という声あり)

(13)について。

(「なし」という声あり)

(14)について。

(「なし」という声あり)

(15) 浜田市国民健康保険及び後期高齢者のドック事業自己負担金の改正について

(16) ごみ収集カレンダーのレイアウト等の変更について

(17) エコクリーンセンター直接搬入手数料の改定について

(18) エコクリーンセンター特別開場日の増設について

原田議長

4件一括で説明をお願いします。市民生活部長。

市民生活部長

(以下、資料をもとに説明)

説明が終わりました。議員から質問等ございますか。

(15)について。

(「なし」という声あり)

(16)について。

(「なし」という声あり)

(17)について。

(「なし」という声あり)

(18)について。

(「なし」という声あり)

ではこの件については終了します。

(19) 山陰浜田港お魚カレンダーについて

(20) 広島市場開拓室活動状況について

(21) しまねお魚センターのリニューアルオープンについて

原田議長

3件一括で説明をお願いします。産業経済部長。

産業経済部長

(以下、資料をもとに説明)

説明が終わりました。議員から質問等ございますか。

(19)について。飛野議員。

飛野議員

カレンダーには食べたくなるようなお魚が一杯掲載されていました。ましてや中を見ると「おすすめレシピ」が掲載されて、一考があつて非常に良いと思います。市民向けということですが、列車の車窓から浜田駅に泊まった時にお魚の絵が無いように思いましたが、何か理由がありますか。

産業経済部長

貴重なご意見ありがとうございます。観光交流課も以前あそこにおりました。待合室等あそこに浜田関係のポスターを入れさせていただいた所もあります。議員さんのご提案でどこまで実現出来るか、JRさんとも協議させていただきたい。魚を感じてもらえるよう取り組んでまいります。

飛野議員

浜田駅を利用される方は結構貼ってあるけれど、列車に乗った方があそこに停まりますと、神楽の看板はちょっと見えたのですが、魚は無かったように記憶しています。ただ白い壁ばかりで冷たいイメージがありました。昨日たまたま松江へ行く機会があつて見たんですが、松江に行くとノドグロを全面的に表に出して、畳一畳くらいのノドグロを掲げたお店が複数見当たりました。浜田のノドグロとはどこにも書いてありません。山陰で獲れたノドグロということで、錦織圭のことも出ていました。

向こうも結構派手に取り上げているのに、浜田は出てこなくて寂しいなど。浜田市の魚がノドグロなのであればもうちょっと、駅に停まった時に他所の役場で止まった時にパッと目に入るのは大事なことじゃないかと。ましてそこに錦織圭がラケットではなくノドグロを持った絵をそこに貼り付けるというようなことも、大々的にやっていただきたいと思いました。答弁は結構です。

原田議長
森谷議員
原田議長

他にありますか。森谷議員。

広島開拓室なんですけど…。

ちょっと待ってください、まだそこまで行ってませんので。(19)について他にありませんか。

(「なし」という声あり)

では(20)について。森谷議員。

森谷議員

広島開拓室なんですけど、だいたいこれは予定通りの成果なんですか。それとも何か、予定以上の成果を上げているという認識なんですか。

原田議長
産業経済部長

産業経済部長。

企業誘致関係や港のものについては、広島港を抱えられており、なかなか成果が上がっていないというのが私どもも苦慮しているところです。これは時間をかけてゆっくりやっていく必要があるのかなと思っています。しかしながら販路開拓については、営業もしているんですが潜在的に今まで浜田のお魚ということで来たことが無かった企業さんがおられて、瀬戸内海でも広島のお魚はかなりあるわけですが、実際にノドグロのこともあります。浜田港の魅力を何社にもご覧いただいて、来られた時は泊っていただき朝競りを必ずご覧いただく工夫もしていますが、こういったことで浜田のお魚に対しかなり好感度がアップしてきた実感を持っています。そういった点はかなり成果があったのではないかと思いますので、今しばらく辛抱強く見守っていただければありがたいです。

森谷議員

予想以上の成果だという認識だと思います。私も度々お伺いしているんですが、表から見てもよく分からないし、折角良い場所なんだから黙っていても皆が見て入るようにしたら良いと思います。上がって見ても、倉庫の中の事務所みたいなんですよ。何かこう、汚いし寂しい気がします。ドロドロした営業はしたくないというか、澄まして営業しているような気がして仕方ないんですよ。利用出来るものは何でも利用する。私でも。そんな感じの、這いずり回っているような姿が見えないので、是非頑張って欲しいんですけど。検討してください。

原田議長

良いですか。他にありますか。

(「なし」という声あり)

では(21)についてありますか。足立議員。

足立議員

20日にしまねお魚センターのリニューアルオープンということで非常に期待しているんですが、これ補正予算で計上された分だと思いますが、多分補正予算の説明の時には、4つのテナント部分を新しい事業者の方に、というような説明を受けた気が、私の記憶違いでなければそんな気がするんですが、今見る限り残念ながら2つはダップスさんで埋まっている、残り2つは多目的とPRブースということで。ちょっと心配するのが、お

産業経済部長	<p>魚センター側に入るテナント料の整合性は。補正予算を組む段階とは若干違ってきているのではなかろうかと思うんですが。その辺りご説明をお願いします。</p>
足立議員	<p>議員ご指摘のとおり、空いている場所は4マスございました。4マス埋めていただくお店があればすぐにでもPRブースや多目的ブースは撤退する考えですが、この危機的状況を何とかしてやろうという熱い心意気のもとに進出を決めていただいた会社が1社ありました。</p> <p>私どもも営業に歩いておりましたが、実際に魅力を感じておられる企業さんもかなりいらっしゃるの事実です。ですからそういった面では、まだまだ空いているブースもございますので全力でPRしてまいりたいと思っています。</p> <p>それから予算関係ですが、これは実際に金融機関の協力も得て、現在基本的な10万円の家賃プラスアルファ売上の5パーセントという設定ですが、基本給は3万円にして売上の5パーセントを足していただくということで現在。そうしますと約6割ぐらいの、今まで払っていたものの家賃から比べますと半分まではいきませんが60パーセント程度にはなっていると思いますので、その分商品を安く売ってくださいとテナントにはお願いしているところです。是非ご期待ください。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それと、来年は1月3日から始められるということですが、20日のリニューアルの時には色んなイベントがありますが、3日は皆さん帰られる日なので、またここで何かイベントされるのかと期待しているんですが。もし分かっている範疇があればお願いします。</p>
産業経済部長	<p>イベント等については20日から来年3、4月以降も併せて、土日や特別な所を埋めていこうと思っています。今の段階で1月3日は新春初売りということで、各テナントで趣向を凝らしていただくことをお願いしております。現在何がありますということまでは申し上げられない。ご了解ください。</p>
原田議長	<p>他に。 (「なし」という声あり) ではこの件については終了します。</p>

(22) 温泉使用料の過少請求について

原田議長 金城支所長 原田議長	この件について説明をお願いします。金城支所長。 (以下、資料をもとに説明) 説明が終わりました。議員から質問等ございますか。 (「なし」という声あり) ではこの件については終了します。
-----------------------	--

(23) 浜田東部統合小学校(国府小学校)について

原田議長	この件について説明をお願いします。教育部長。 (以下、資料をもとに説明)
笹田議員	説明が終わりました。議員から質問等ございますか。笹田議員。 校舎を残したまま校舎を建てて、今から古い校舎を潰して校庭を作るとのことですが、始めの説明では芝生化するとお聞きしていますが、そ

これは間違いなく芝生化してスプリンクラーを設置して芝生になるんでしょうか。

教育部長
原田議長

はい。その予定で工事を進める予定です。

良いですか。その他ありますか。

(「なし」という声あり)

ではこの件については終了します。

(24) その他

旭温泉水有効活用事業起業プランコンテストについて

原田議長

この件について説明をお願いします。旭支所長。

旭支所長

(以下、資料をもとに説明)

原田議長

説明が終わりました。議員から質問等ございますか。牛尾昭議員。

牛尾昭議員

所管委員会でそれぞれ提案させていただいたことを汲み取っていただき、良いプランが出来たと思って評価しています。

ただ、2月27日で募集を区切られると。応募があれば良いですが少し緩やかに枠を広げられた方が…素人だからそう思うんですが。特に2月27日で締め切る意味があったんでしょうか。

旭支所長

賞金が今年度予算ということもあるんですが、2回の審査委員会を開くことにしています。最初は書類審査、2次審査で面談してプレゼンをしていただきたいと思っているので、ある程度の期間が必要だと思っています。

2ヶ月と期間は非常に短いですが、この中で出来るだけ活発に営業して、どこかで区切らないとと思っていますので、この段階で一度区切らせていただいて提案を締め切りしたいと思います。

牛尾昭議員

近隣市を見ても、ここまで賞金と企業の3000万円とセットで募集するプランコンテストは初めてだと思います。そうすると、告知であるとか記者会見だとかを大々的におやりになるべきだと思うんですが、手順についてはどのようになるんでしょうか。

旭支所長

PRの仕方が難しくて。まずは新聞やTV等で扱っていただきたいとは思っていますし、浜田市ホームページ、あとは今コンサルが入っていますのでその辺のネットワークを活かしながら、とにかく狭いエリアの募集ではあまり効果も低いと思いますので、出来るだけ全国区の中でPRを積極的に結び付けていきたいと思っています。

原田議長

笹田議員。

笹田議員

これも15日からということで、担当委員会が10日にありました。これは説明を受けてなかったんですが、後にFAXで焦ったかのように家に流れてきまして。これもするんだと。どうせだったら10日に説明していただければ10日に色々聞いたんじゃないかと思うんですが、その辺は1回聞いてみたいと思います。

あと、これ2ヶ月ということで先ほど牛尾昭議員からもありましたが、ある程度温泉の湯質だとか研究しないと、なかなか良い案が出てこないと思うんですが。そういった意味で2ヶ月というのは非常に短いなど。今年度予算で100万円ということですが、別に100万円を今年度中に使わなくても、良い物が出来れば半年かけても良いと思っています。そういうことにならなかったのかなど。折角良い物をされるのであれば。ある程度

は一本釣りでプランがもう出てくるなら分かりますが、今からゼロからスタートというのは正直厳しいんじゃないかと私は思うんですが、その辺について。

旭支所長

おっしゃるとおり、10日の産業建設委員会の中で今回のことは情報提供しておりません、大変申し訳ございませんでした。こちらの手落ちでした。

あれ以降慌てて準備したところもあり、駆け込みしたのも正直なところですが、とにかく本当はもっと早い段階でこの提案をする予定だったのですが、ご存知のように色々なトラブルがあり、こちらに集中出来ず、早く取りかかりたかったというところで、そこまで気が回りませんでした。大変申し訳なく思っております。

2点目のご質問ですが、今回の100万円に限定してというのはおっしゃるとおりだと思いますが、我々としては今年度で1回切ってみたい。この段階で本当にどういう提案がいただけるのかというのを見ながら、企業と情報交換する中で、とてもこんな期間じゃ無理だ、もう少し時間があればもっと良い提案が出せるよ、という情報がどんどんいただけるようなら再考したいと思っています。

原田議長

良いですか。その他ございますか。

(「なし」という声あり)

ソフト系IT企業の浜田市への進出について

原田議長

この件について説明をお願いします。産業経済部長。

産業経済部長

(以下、資料をもとに説明)

それから、口頭でございますが本日議員さんのお手元に、浜田からの贈り物情報誌「はまおく」というのが、先週末に印刷が上がりましてので、急遽ボックスに入れさせていただいておりますので、ご覧いただきたいと思っております。

原田議長

説明が終わりました。議員から質問等ございますか。

(「なし」という声あり)

つなげよう山陰道プロジェクトについて

原田議長

この件について説明をお願いします。都市建設部長。

都市建設部長

(以下、資料をもとに説明)

(「いつ飾るの」という声あり。)

飾る場所はプレイベント、開通式の約1週間前にあります。このときにも飾りますし、開通式当日にも会場に掲示します。それから2年後に計画されております次の西村・三隅間の開通式典の際にもこれは使用したいと思っております。開通式の日程はまだ決まっておりません。

原田議長

説明が終わりました。議員から質問等ございますか。

(「なし」という声あり)

その他、執行部からございましたら。地域政策部長。

地域政策部長

本日ご説明させていただいた瀬戸ヶ島活用基本方針素案のパブリックコメントについてです。明日からとご説明させていただきましたが、まだ充分ご理解いただけていない部分もございますし、素案についてはこういう内容で固めておりますが、瀬戸ヶ島開発の基本的な考え方や財

政的なことも併せて、1月9日に再度ご説明してご理解いただいた上でパブリックコメントに臨みたいと思いますので、明日からのパブリックコメントについては延期するというご報告させていただきたいと思っております。よろしくお祈りいたします。

原田議長

皆さんから意見ありますか。
(「なし」という声あり)

では、執行部の方はここで退席されますので、是非ここで言うておきたいことがありましたら、議員からお願いします。田畑議員。

田畑議員

言いたいことは一杯ありますが言えばきりがないので。12月議会で一般質問しました自治区制度の問題について、あるいは消防の機構改革について。その質問をケーブルテレビで見られた方からの声を私も直接聞きました。特に消防の機構改革については、とても消防力の強化にならないという声が入ってきました。どう考えても消防力強化にはならないと私も思います。今、消防力強化になるということで管理職を配置するのであれば、今後それぞれの出張所においては新たな人を投入するのが不可能になってくると私は考えます。消防職員の定数条例の問題から考えた時に、とても非常時に対応出来る人員配置ではないのは間違いないと思います。それについては市長も消防長も副市長も皆分かっておられると思います。それが何故、管理職を配置することによって消防力の強化になるんだという表現になるのか全く私には理解出来ません。それについてどのようにお考えでしょうか。

原田議長
消防長

消防長。

これまでも管理職を配置することにより、支所間の連携や大規模災害時に特に管理職が災対本部が出来た時に詰めて、密なる連携が出来るのか、管理職を配置することにより公用車を配置する予定としているので、平常時における消防訓練の指導や、対象物への査察等、平常時・災害時通じてメリットがありますので、そういったことを内部の検討委員会等で色々検討しながら、今回管理職の設置に向けて。

これは3月議会で条例改正をする予定としていますので、そこでまた議員の皆さまのご承認が無いと機構改革ということにはなりませんけど、そのようなことで上程させていただく予定としておりますので、そういう意味で強化になるんじゃないかということです。

田畑議員

現場はね、僕も消防団の副隊長としてそれぞれの出張所の消防職員の皆さんと綿密な打合せをしながら、それぞれの地域における防災訓練を一緒にやっています。そうした時に現行体制が、管理職が居なければ出来ないという体制ではないと私は判断するんです。

そうした時に、支所が20人体制、自治区が無くなる、わけの分からない浜田市になってくるんです。そうした時に何がきちんとしてないといけないかと言えば、消防と消防団ですよ。この連携が密になった時に初めて、その地域が元気になるんです。

このことを思えば、今回消防長が企画されている管理職の配置というのは、本当に不適切であると私は思います。そうではなく、来年4月から変わった形で人事考課をしなければならぬからというのであれば、将来的には管理職を配置するとか人を増やすとかいうことは考えられますが、今の消防力の強化になったら人を増やすことは、まず不可能だと私

は思います。1年間に450回出動する三隅出張所と、三隅エリア含めて120回出動する弥栄と、同じ土俵で人を増やすことをどのような考えでおられるのか、私は全く分かりません。そこはどのようにお考えですか。

消防長

なかなか難しい質問です。市長の方で新自治区制を今言われていますが、浜田市のあるべき消防の姿と言いますか。自治区枠を撤廃して、浜田市の消防本部の体制を考えた時に、理想的な消防のあり方というのを検討中です。このあり方が、消防本部の中での話ですので、まだ公表出来る段階ではありません。

雲南消防本部の管轄は浜田市よりも多く、1000平米以上ありますが、これが3署体制になっています。雲南消防のモデルは浜田市にとって非常に参考になるのではないかとということで、将来3署体制が理想的だと思っています。

統廃合というのが当然入ってくるわけですが、統廃合すると言っても当然住民の理解が無いと出来る話ではありませんので、先ほど言ったように、弥栄と三隅を西部、旭と美又を東部という考え方で、そこに管理職を配置することによって、管理職は原則日勤を想定していますので、日勤になった時には消防団との連携も動きやすいですから取れると思いますし、将来統廃合を見据えたワンステップという考え方で今回、管理職の配置を考えました。

田畑議員

ここであまりぶつぶつ言っても仕方ないですが。私は、ここで今西部消防署という言葉が、一般質問で私も使いました。そうした場合において、旭の問題、弥栄の問題を考えた時に、もう明日からはなくなるんだという発想です。だから、手順が違うんですよ。統合の話を出しておいて、煮詰まった時に管理職を配置して、組織が無い所に管理職を配置するほど浜田市は余裕があるんですか。組織無いでしょう西部消防署に。そこに管理職を配置するんでしょう。管理職でも手当が要るんでしょう。

一方ではお金が無いから自治区廃止しますと言っているんでしょう。全く理解出来ません。

原田議長

答弁要りますか。

田畑議員

要りません。

原田議長

この意見については、田畑議員、また別の所で議論していただきたいと思えます。よろしくお願ひします。森谷議員。

森谷議員

正確な情報ではないかもしれないんですけど。新聞が先に発表して後から議員が知っちゃったというケースが多いので念のために言いたいんですけど。

昨日、クレーマーが市長室に入って、市長が1時間対応したという話を聞いたんですけども。それも選挙に関することで、投票用紙が云々ということで。選管と総務と、どこが関わってくるのか分かりませんが、大事に発展する可能性のあるものなのか、ただのクレーマーが来て市長室を占拠したということなのか。その点をどなたかから説明いただけますでしょうか。

原田議長

総務部長。

総務部長

私も昨日、当日あるご家庭に投票券が到着していなかったということで、投票券が無いんだけどどうすれば良いかということで選挙管理委員会にお電話があつて、そこでちょっと電話等だったりしたことで行き違

いも含めて、相手の方が相当不快に思われたという事例はありました。

一応その内容について市長にも聞いてもらいたいし、市長はどのように思われているかということで来られましたけど、選挙管理委員会が委員長も含めてご説明差し上げましたけど、ちょっと誤解があるのか、あるいは行き違いがあるのか分かりませんが、そういう感じです。

というのが、奥様が期日前投票等にも来られていたんですが、その時にも投票券が無いというようなことがあったそうなんですが、少しその辺で配慮が足らなかった、もう少し詳しいことをお聞きして対応すべきだったということではございましょうけども、相当、選挙管理委員会等々、当事者の方については誤解も含めて、まだすっきりと話がついている状況ではございません。内容的にはそのようなことです。

森谷議員

クレームってよくありますけど、市長が対応するクレームというのは相当な物だと思うんですね。僕なんかはまだ、怒られた時に呼びつけられて怒られたことはあるんですけども、市長とさして話をしたことは1年経つけど無いんですけど。

重大性は感じておられない軽微な案というのでしたら、どうして市長が対応されたのか分からないし、重大な案というのでしたら何が重大なのかということ、隠さずオープンにしていきたい。

ここで話すことじゃないと言われるなら、それで良いですけどね。

原田議長

副市長。

近重副市長

入場券が郵送で来てなかったという電話があったようでして。それで対応がちょっと。通常は入場券が無くても投票は、本人さんであるということは生年月日等を聞いて出来ますので、そういう単純な答えをしたんだろうと思うんですが、その辺で不快な思いを若干されたということで、そういうことがあったということでございますので。

問題としてはそんなに大きいことではないんですが、ただ対応等で若干そういうことがあったというふうに、私は聞いています。

投票することに直接問題があったということではないということです。

総務部長

先ほど、入場券のところを投票券と言い間違っておりましたので訂正させていただきます。済みませんでした。

森谷議員

そういう案件でしたら、市長が自ら対応するのはちょっとおかしい気がするんですけどね。お忙しいのに。僕でもクレーム入れれば市長と話が出来るとかなという気がするんですけど。

それは何か特別なことがあったとしか考えざるを得ないんですけども。何か隠す必要があるんですか。隠さないで言ってくださいよ。市長が対応するって普通じゃないですもん。部長だってなかなか会えないのに。

総務部長

選挙管理委員会が一義的には対応されたんですが、選挙当日でもあったということで、なかなかご理解いただけなかったと。そういうことで、内容以上にその対応について少しご不満を持っておられたんじゃないかと思えます。そうしたことで、内容じゃなくて市長として、特に選挙という重要なことですので、一応お話の内容をお聞きするというで対応させていただいたということで。中身がどうこうということではありませんので、その点をご理解いただきたいと思えます。

森谷議員

これで最後にしますけど、入場券をもう一部印刷するようなこともされたと聞いておりますけど、そんなことは簡単に出来るとは思えないん

原田議長
小川議員

ですけども。別の機会にまた詳しく説明してください。

他にございますか。小川議員。

先ほどの説明のソフト系IT企業の進出の件ですが、話を伺った中身では、こちらから来てくださいというのではなくて、向こうから浜田を選んで来ていただくという形だと思うんですが、徳島県上山町の例で言いますと例えば、東京から徳島空港までが60分、そこから上山町まで60分、合計2時間で行ける距離なんですけど、ここの場合は東京から浜田までといったらかなりあります。それに上山町で言うと町全体がITに対応出来るようにWi-Fi環境が整っているとか、土地自体が災害に比較的強い土地柄があるとか、そういうのがあって東京からもIT企業を中心に来ておられるというのがあるんですけど。

こちらの関係、そういった点で選ばれた理由を掴んでおられたら、お伺い出来ればと思います。

原田議長
総務部長

議題から外れておりますので、その他ですんで…簡単に。

今伺っておりますのは、島根県も積極的に東京事務所を活用しながらアプローチもされておりますが、この会社の中で島根県や浜田のご出身で非常に優秀な方がおられるということで、人材として島根県浜田市に是非行って、優秀な人材を得たいということだと感じています。

原田議長

それでは執行部の皆さん、退席してもらってよろしゅうございます。ご苦労さまでした。

《 執行部退席 》

2. 陳情審査結果について

3. その他

- ・議案における各自の採決結果の記載について（配付・記入・提出）
- ・新年市民賀会の会員券の配布について（平成27年1月5日（月）16時～開催）

原田議長
三浦局長

では事務局からお願いします。

先般総務文教に付託した陳情結果が出ておりますので、参考にお手元に配布しておりますので、よろしくをお願いします。

それと、今日最終日ですので議案の採決結果の記載については、通常どおり記入をいただいて提出をよろしくをお願いします。

それと、先般ご説明しております1月5日（月）16時からの市民年賀会の関係の会員券がお手元に行っていると思いますので、出席方をお願いします。

以上事務連絡です。この後の日程ですが、議運を開いて3月議会の日程と、若干の報告事項がございますが、そんなに時間はかかりませんので議運をさせていただき、この場で特別委員会を開催という予定にしております。議運のメンバーの皆さんは第4委員会室へよろしくをお願いします。

原田議長
笹田議員

議員の皆さんから何かございますか。笹田議員。

広報広聴委員会からですが、明日までに一般質問の紙を入れておこうと思いますので、明日取りに来てチェックしておいてください。よろしくをお願いします。

原田議長

では最後ですので私からお願いしておきますが、これからいよいよ年末に向けて師走でございますので、年末年始でお酒を飲むことも多くな

ろうかと思います。また雪も降ったりして交通事故等もございますので、議員の皆さんには十分に注意をして、また、市民の皆さんから噂されることの無いように。それぞれ気持ちを持ってやっていただきたいということをお願いしておきたいと思います。

それからこうして1年、大変お世話になりました。皆さん方、今年もひとつ元気で年を越していただき、新しい年をご家族お揃いでお迎えになりますことを心から祈念して、本日の全員協議会を終了させていただきます。ありがとうございました。

[14 時 30 分 閉議]

浜田市議会全員協議会規程第6条の規定により、ここに全員協議会記録を作成する。

浜田市議会議長 原 田 義 則